

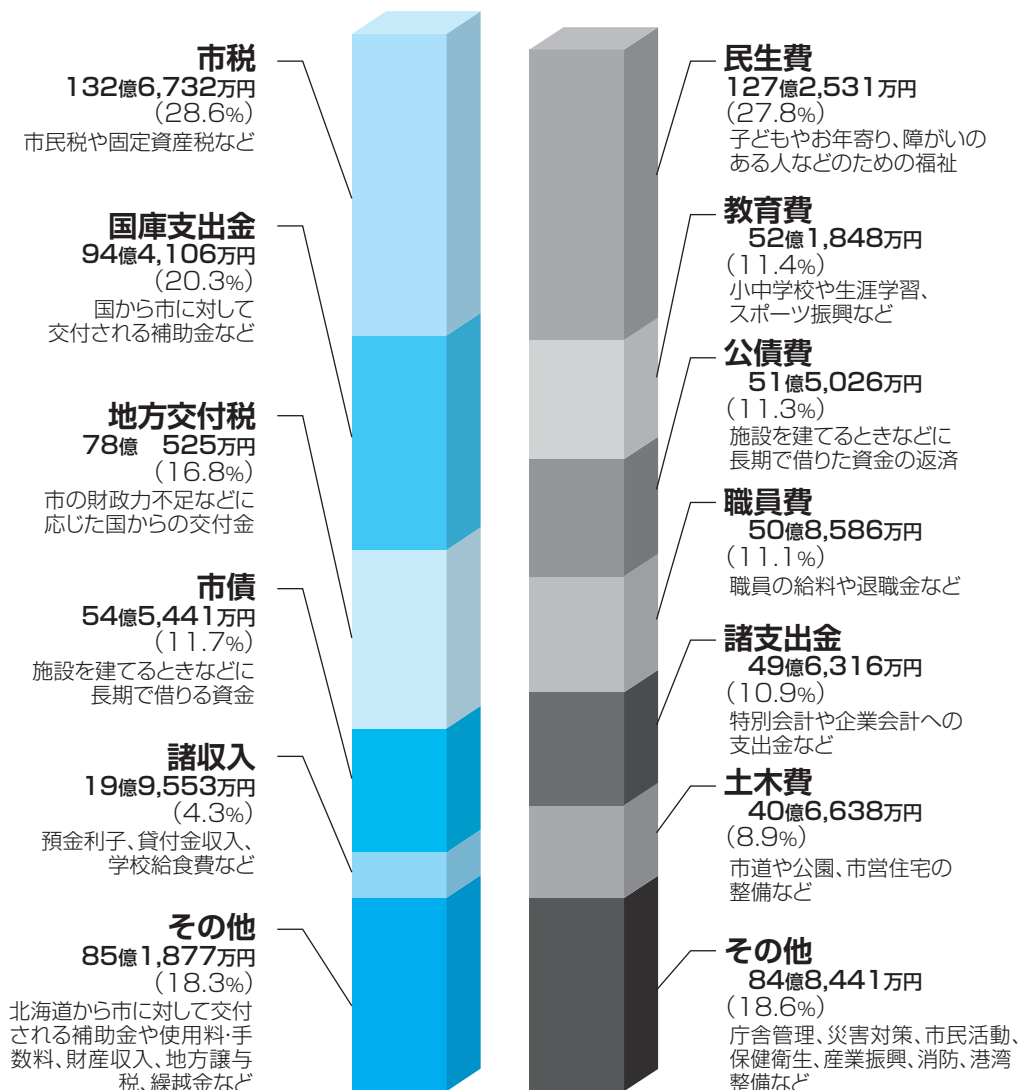
一般会計

福祉や教育、道路整備など、市の基本となる事業の会計です。

歳入の市税や地方交付税が予算に対して増えたことなどから、約7.9億円の黒字となりました。

歳入総額 464億8,234万円

歳出総額 456億9,386万円



平成29年度の各会計の決算の概要と財政状況についてお知らせします。なお、平成30年度上期の執行状況などは、9ページに掲載しています。

むろらんの決算状況

予算の執行状況などの詳細を記載した「財政事情説明書」は、市ホームページまたは財政課(市役所本庁舎3階)でご覧になれます。

《詳細》財政課 ☎25-2268

http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2300/kessan.html

特別会計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

国民健康保険会計や介護保険会計で保険給付費の減少などにより黒字となりました。後期高齢者医療会計では、北海道後期高齢者医療広域連合への納付金の減少などにより黒字となりました。

国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
75歳未満の加入者が保険料を負担し合い、医療費を賄う制度です。	原則65歳以上の被保険者が、寝たきりなどで介護が必要となったときに必要なサービスを利用できる制度です。	原則75歳以上の加入者が保険料を負担し合い、医療費を賄う制度です。
歳入 115億4,721万円	歳入 77億2,285万円	歳入 14億9,665万円
歳出 112億636万円	歳出 73億9,202万円	歳出 14億5,949万円
差引 3億4,085万円	差引 3億3,083万円	差引 3,716万円

企業会計

民間企業と同様に、利用料金収入などで運営する会計です。

単年度の企業の経営成績を表す収益的収支については、病院会計と港湾整備会計が赤字となりました。また、資金の状況については、累積赤字を表す資金収支不足となった会計は、病院会計、港湾整備会計、下水道会計の3会計となりました。

用語
の
説明

●収益的収入、収益的支出

企業の経営活動で発生した全ての収益と、それらに対応する全ての費用

●資本的収入、資本的支出

将来の経営活動に備えて行う施設や設備の建設・改良に要する支出と、その財源になる企業債などの収入

水道	下水道	病院
給水戸数は4万5,882戸、給水人口は8万4,911人、普及率は99.9%。千歳浄水場監視制御設備更新工事や、チマイベツ系送水管の改良工事などの施設更新と送・配水管更新を実施しました。	処理人口は8万4,302人、普及率は99.2%。蘭東下水処理場と日の出汚水中継ポンプ場の設備の更新などを実施しました。	入院患者数は延べ14万2,310人、外来患者数は延べ19万5,843人。医療用画像管理システムの更新や総合病院建物外部等改修二期工事などを実施しました。
収益的収入 18億3,299万円	収益的収入 31億4,884万円	収益的収入 92億7,277万円
収益的支出 15億8,261万円	収益的支出 27億2,074万円	収益的支出 95億8,091万円
差引 2億5,038万円	差引 4億2,810万円	差引 △3億 814万円
資本的収入 1億7,255万円	資本的収入 7億1,393万円	資本的収入 9億1,098万円
資本的支出 11億 612万円	資本的支出 15億5,288万円	資本的支出 12億7,193万円
資金の状況 11億5,531万円	資金の状況 △4億9,045万円	資金の状況 △3,084万円
公設地方卸売市場	港湾整備	工業用水道
青果取扱量は1万2,032トン、水産物取扱量は5,283トン。	臨港地区における倉庫上屋12棟、荷役機械2基、施設用地の貸し付けなどを実施しました。	給水事業所数は1事業所で、年間責任給水量は91万2,500立方メートル。
収益的収入 1億7,537万円	収益的収入 5億4,611万円	収益的収入 1,453万円
収益的支出 1億3,344万円	収益的支出 5億7,210万円	収益的支出 1,005万円
差引 4,193万円	差引 △2,599万円	差引 448万円
資本的収入 1,636万円	資本的収入 8億7,010万円	
資本的支出 8,272万円	資本的支出 9億2,426万円	
資金の状況 825万円	資金の状況 △31億7,641万円	資金の状況 1億1,905万円

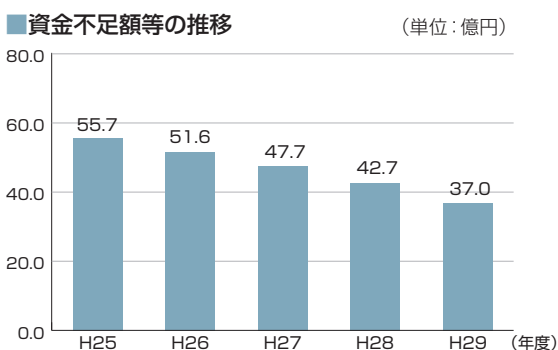
財政状況の推移

市の資金不足額等と基金等現在高です。

市の赤字（資金不足額等）

平成29年度末における企業会計の資金不足額等は37.0億円で、前年度末に比べて5.7億円、平成25年度末に比べて18.7億円減少しています。

これは、各会計における事務事業の見直しによる自助努力などが主な要因です。



市の貯金（基金等現在高）

市の貯金である各種基金と備荒資金組合納付金の平成29年度末現在高は、合わせて100.8億円で、前年度に比べて7.8億円減少しています。

※基金は、土地を除く。

